

## アンケート用紙

料金  
受取  
人払

那覇市泉崎 1 - 2 - 2  
沖縄県企画部交通政策課  
那覇空港調査連絡調整会議事務局 行

- 1 調査票にご記入くださる方、ご自身についてお答えください。
- 住所 県 市・町・村
- 性別 男性 女性
- 年齢 10代 20代 30代 40代 50代 60代 70代～
- 職業 会社員 公務員 自営業 主婦 学生  
農業 漁業 その他( )
- 2 那覇空港の総合的な調査についてお答えください。  
那覇空港の総合的な調査を実施していることを、いつ知りましたか。  
今回知った P1ステップ2(昨年) P1ステップ1(一昨年)  
それ以前から知っていた  
これまでのP1でアンケートに回答したことがありますか。  
ある(P1ステップ2) ある(P1ステップ1) ない  
現在、P1を実施していることを何で知りましたか。  
広告(新聞等) 周囲の人から 報道(テレビニュース、新聞等)  
ポスター 雑誌(県、市町村広報誌等も含む) インターネット  
報告書の入手場所 その他( )
- 3 報告書の内容をどの程度ご理解いただけましたかお答えください。  
1:理解できた 2:ある程度理解できた 3:理解出来なかった
- 問1 パブリック・インボルブメント(P1)の意味や3つのステップで進めていること。
- 1 2 3
- 問2 ステップ2の結果、2015年度頃には航空旅客需要の増加に対応できないおそれがあるとわかったこと。
- 1 2 3
- 問3 将来対応方策として、平行誘導路の二重化と滑走路増設について検討を行ったこと。
- 1 2 3
- 問4 12の滑走路増設パターンから3案を選定し、整備効果、事業規模、周辺環境への影響の3つの視点に基づき比較検討したこと。
- 1 2 3
- 問5 増設滑走路を沖側に配置するほど、空港能力(日発着回数)は向上しますが、埋立面積や事業費等も大きくなる傾向にあること。
- 1 2 3
- 問6 増設滑走路を沖側に配置するほど藻場やサンゴへの影響が大きくなり、陸域に近づけると瀬長島等への影響が大きくなる傾向にあること。
- 1 2 3
- 問7 総合的な調査結果を踏まえ滑走路増設の必要性があると判断されれば、構想段階・施設計画段階へ移行すること。
- 1 2 3
- 問8 将来対応方策は、今後の詳細な検討を踏まえ決定されること。
- 1 2 3
- 裏面もご記入ください

4 将来対応方策案の評価項目の中で、特に重要と考える項目を教えてください。(3項目まで複数回答可)

空港能力      経済効果      利便性      事業費      工期  
自然環境への影響      社会環境(瀬長島等)への影響      その他  
選んだ理由を教えてください。

5 将来対応方策案についてどう考えますか。

その他(なんでも気づいたことをお教えてください)

ご協力ありがとうございました。